

舞鶴市議会 総務消防委員会 活動報告

- 香川県さぬき市における取組の調査
- 島根県出雲市における取組の調査
- 岡山県倉敷市における取組の調査

総務消防委員会調査視察

実施日：令和4年5月9日～11日

視察の目的

本年3月に「舞鶴市DX推進計画」が策定され、行政のデジタル化がより具体的に動き出す段階にあることから、先行して計画を推進している事例を調査し、その手法や体制等を本市の取組に対する多様な観点の1つとして生かす。

また、昨年策定された「舞鶴市地域公共交通計画」の推進に当たり、先行して計画を推進している事例を調査し、公共交通の利用促進や交通網として維持していくために必要な取組に関する新たな視点を得る。

〔総務消防委員会の令和4年の重点事項〕

- (1) 行政のデジタル化に関する調査研究
- (2) 公共交通に関する調査研究

視察先及び日程

日	程	視察先	調査事項
令和4年4月9日（月）	午後2時～3時30分	香川県さぬき市	地域公共交通計画について
令和4年4月10日（火）	午後2時30分～4時	島根県出雲市	デジタルファースト推進計画について
令和4年4月11日（水）	午後1時～2時30分	岡山県倉敷市	地域公共交通網形成計画について

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を掲載していますので、ご覧ください。



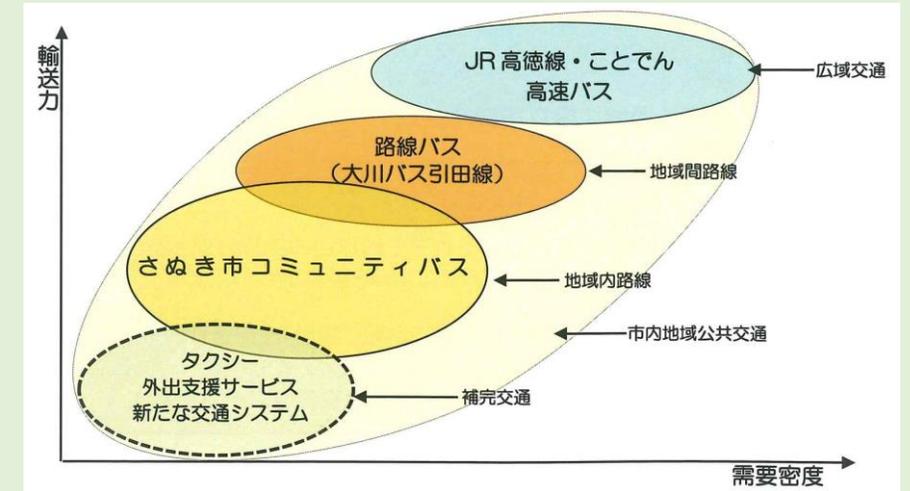
総務消防委員会調査視察

実施日：令和4年5月9日～11日

【香川県さぬき市】調査事項：地域公共交通計画について

《さぬき市の取組の概要》

- ◇ 計画の策定に当たって、無作為抽出による市民アンケート調査をはじめ、多種多様な調査が行われていた。
- ◇ 広域交通、市内の地域間路線、地域内路線、それらの補完という位置づけで、各交通機関の役割・機能の分担が示されていた。
- ◇ 令和3年度では、民間事業者の協力により、ベンチや自動販売機の設置といった「バス待ち環境」の改善が図られていた。



機能・役割の分担



民間事業者の協力によるバス待ち環境の改善

《委員の所感》

- 地域特性について徹底調査するところから始めている点は、まちづくりの基本として、あらためて重要性を認識した。
- コミュニティバスの運営は外部委託であるが、交通計画の主導権をしっかりとって、運行時間や経路を設定している点は興味深い。
- デマンド型・予約型のサービスが、面倒との理由から、あまり市民に受け入れられていないという事実は、注目すべき点である。
- 利用者の減少による公共交通の維持は、多くの自治体の共通課題であり、情報共有も必要であると感じた。

総務消防委員会調査視察

実施日：令和4年5月9日～11日

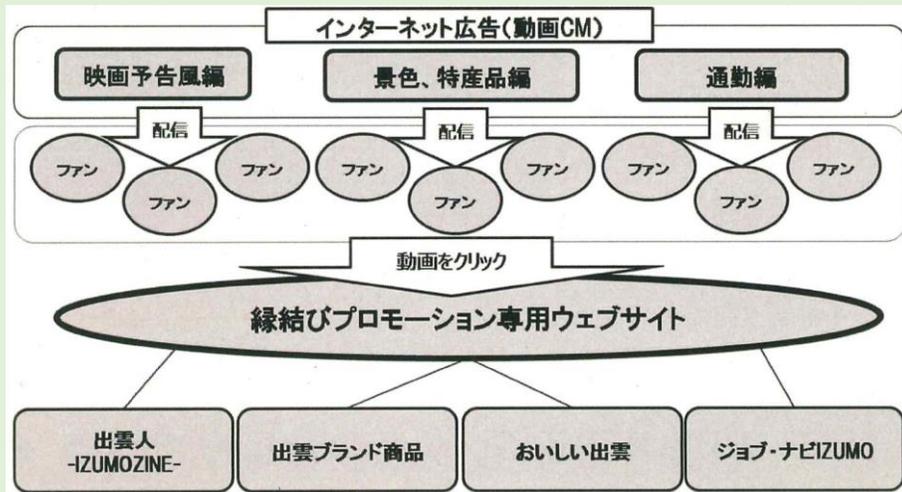
【島根県出雲市】調査事項：デジタルファースト推進計画について

《出雲市の取組の概要》

- ◇ 計画には、3つの基本理念が掲げられており、ニーズや技術の変化にも、この基本理念をもとに対応することとなっていた。
- ◇ 計画に掲げる将来像を実現するための行程を示すロードマップを策定し、25の目指す姿に対応した61もの施策が掲げられていた。
- ◇ AIやRPAによる業務の効率化のほか、インターネット広告を利用して市のPRを行う取組なども実施されていた。



3つの基本理念



インターネット広告を利用したPR

《委員の所感》

- 日進月歩の技術の世界であり、本市出身や縁のある方など、協力していただける外部人材の登用も必要ではないかと感じた。
- 行政サービスや市民の利便性向上はもちろんのこと、まちづくりや、産業・観光にも重点が置かれていることには注目すべき。
- ロードマップに詳細な施策を定め、進捗状況も確認・検証していくのは大変ではあるが、確実な実行のためには必要である。
- 個別の取組では、本市のほうが先に進めていることも多くあったが、本市でも詳細な計画を早期に策定する必要があると感じた。

総務消防委員会調査視察

実施日：令和4年5月9日～11日

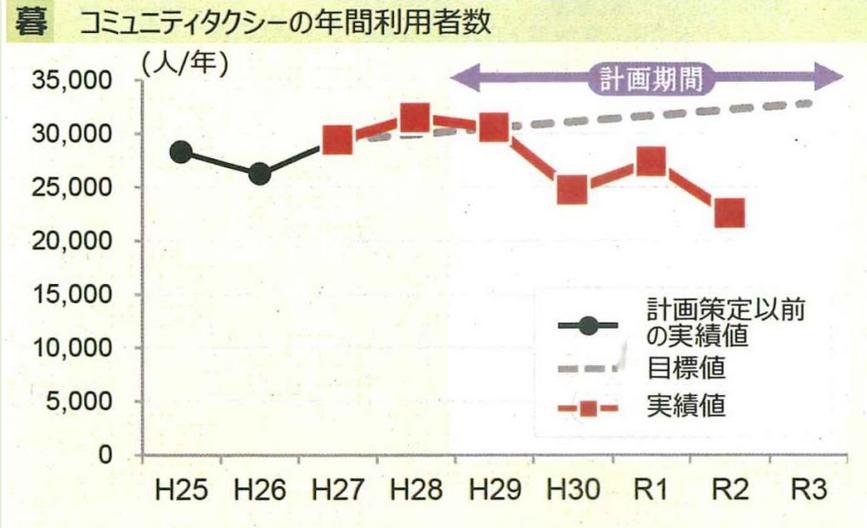
【岡山県倉敷市】調査事項：地域公共交通網形成計画について

《倉敷市の取組の概要》

- ◇ 市民、地域企業、交通事業者、行政の協働によって進めていくもので、事業者が実施主体となる取組も多く定められていた。
- ◇ 基本方針の単位で評価指標が設けられているが、自然災害やコロナ禍の影響もあり、目標値を達成できていない年度も見られた。
- ◇ 個別の取組についても、すべて実績や達成度が管理されており、それを踏まえて、重要度も見極め、次期計画が検討されていた。



4者の協働による事業の推進



評価指標の検証

《委員の所感》

- 本市においても、各交通機関の状況を踏まえ、交通「網」に着目した取組を積極的に推進する必要があるのではないかと感じた。
- 事業を細分化し、実施主体やスケジュールなどを明確にして、その達成度等を検証している点は見習うべきと感じた。
- コミュニティタクシーは、地域に運営を任せる方式ではあるが、参入の障壁を低くしてある点が先進的であると感じた。

また、赤字へ補助もあるが、利用人数が低い状態が続けば補助も打ち切られるという毅然とした制度で、本市との違いを感じた。